

令和3年度 岡山大学入学式式辞 (2021/04/02)

「今日の課題を共に乗り越え、あるべき未来を共に創る」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この会場に新入生の代表者としてご出席くださっている皆さん並びに、オンラインでご参加くださっている全ての学部・大学院の新入生の皆さんに、岡山大学の教職員を代表して心からお祝いを申し上げます。

また併せて、残念ながらオンラインでのご参加となりましたご家族や保護者、関係者の皆様にも心よりお慶びを申し上げます。

昨年度は、新型コロナの影響で、完全オンラインでの入学式となりましたが、今年度はオンラインによる参加がメインではございますが、なんとか新入生の代表の方と直接顔を合わせながら入学式を執り行うことができました。今後も、しっかりとコロナウイルス感染防止対策を行いながら、新入生の皆さん、保護者・関係者の皆様と私たち教職員・在学生一同が気持ちを一つにし、より健康で充実した大学生活を実現させましょう。

入学にあたって皆さんに、お伝えしたいことが2つあります。まず一つ目は、SDGs「Sustainable Development Goals」という言葉です。「SDGs」、日本語訳は「持続可能な開発目標」です。SDGsは、17のゴールと169のターゲットを定めて、地球環境と人類社会の持続可能性を追求し、「誰一人取り残さない未来のあるべき姿」を世界共通の目標とする国連主導の取り組みです。岡山大学では、私が学長に就任した2017年から積極的にSDGsを推進し、サステナビリティとウェルビーイング、持続可能性とより良い生き方の追究を本学の共通の価値としてきました。

私たちは、SDGs活動に取り組む上で、まず自分たちの「未来のあるべき姿」をしっかりと考えるべきだと思っています。

想像してみてください、未来の自分が生きている地球環境と人類社会のあるべき姿、そして自分自身のありたい姿はどのようなものでしょうか？

おそらくそれが、皆さんの中にある「未来のあるべき姿」、すなわちビジョンということになります。

このたびのコロナ禍を通じて皆さんもよくお分かりのように、今後の日本・世界は、ますます予測が困難な変動の時代になると言われています。気候変動や新たな感染症など、目まぐるしく変化する地球規模の課題に対して、私たちはその都度柔軟に適応していかなければなりません。しかし、現代社会の課題の多くは、極めて複雑に絡み合っており、目の前の変化だけに囚われていては、課題の本質に近づき、解決の適切な糸口を掴むことは難しくなります。そのような時に求められることは、「未来のあるべき姿」を思い浮かべ、そこに近づくために、いま何が必要かを深く考え、行動することで

す。本学には、SDGs 学生アンバサダー制度をはじめとする、さまざまな SDGs に関する活動や、その支援のための仕組みが用意されています。ぜひ、皆さんも、皆さん自身や社会全体の「あるべき姿」に想いを馳せて、授業だけではなく、部やサークルやそれ以外の活動にも積極的に参加して生き生きと学んでください。

二つ目は、失敗を恐れるなということです。岡山大学のこの広大なキャンパスは、実は、第2次世界大戦後の激動の時代に、旧制第六高等学校校長の黒正巖先生が、学生と一緒に、旧軍用地を占拠して、岡山大学のキャンパスとして確保してくださったものです。黒正先生の銅像は、今も本学図書館前にあります。その黒正先生が遺された言葉を、皆さんに贈りたいと思います。

黒正先生は、旧制第六高等学校の校長時代、学生たちに向かってこう語りかけました。『皆さんの本分は、「真理探究、道理徹底」、更に「哲学の精神」にある。ぜひ皆さんには、それが自らの真理であり、哲学であるならば、他人の目や常識など気にせず、自分の責任において何でもやってみる、「自由で野生的な精神を持つ、洗練された知の探究者」であってほしい。そこに何かが見えて来るかも知れない。今の皆さんの年頃では、一つや二つの失敗は、失う物よりも得られる物の方が遙かに大きい。』

70年以上も前に、黒正先生が私たち後輩に遺したこの言葉の意味するところは、改めてこれからの知識・情報基盤型社会にも十分に通用する、大変示唆に富む内容であると思います。激動の時代において、人類社会を安定的、持続的に発展させるためには、常に新たな知識・技術や価値を多くの方々と共に創造していかなければなりません。岡山大学の目的は、「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」です。あるべき未来に向けて高度な知を創成し、次世代により豊かな知を継承するためにも、新入生の皆さんには、本学の目的と黒正先生の言葉をしっかりと胸に刻み、これからの大学生活において、失敗を恐れず新たな価値創造にチャレンジして頂きたいと思います。

最後に、皆さんに岡山大学がこれまで大切にしてきた、総合大学ならではの特色と強みをお教えします。それは、10学部8研究科という岡山大学の「多様性」と、自然や歴史・文化の豊かな岡山の「地域性」です。皆さんはこれから、多彩な学びを経験していくことになります。その時に、ぜひ一歩前に踏み出し、学部や学科、学年そして地域、国籍を超えた、より多様な方々と積極的に繋がってください。必ずや、皆さんの挑戦を支え、共に乗り超えてくれる仲間、教職員、そして地域の皆さんに出会われることでしょう。それこそが、多様性と包摂性を愛する岡山大学の「学び」だと、私は確信しています。

それでは、新入生の皆さん、今日から岡山大学の学生として、希望に溢れた新しい

一日が始まります。どうか自分を信じ、「未来のあるべき姿」に向かって、自分のペースで大学生活を楽しんでください。私たち教職員・在学生は、皆さんと共に築いていくこれからの岡山大学の未来が、これまでの本学の歴史や伝統を超えるものとなり、皆さんにより大きな誇りと自信をもたらすことを期待しています。

ご入学誠におめでとうございます。

令和3年4月2日

国立大学法人 岡山大学長 槇野 博史